

ラトビア月報

【2024 年 5 月】



2024 年（令和 6 年）6 月発行

在ラトビア日本国大使館

<http://www.lv.emb-japan.go.jp/>

主な内容

【政治】

- ・ 国会は第二外国語を EU の公用語に変更することを認める改正教育法案を可決 (P. 1)

【経済】

- ・ エアバルティック社はリガより新たに 5 都市に就航 (P. 2)

【外交】

- ・ 独・バルト三国首相がリガで会談 (P. 4)

【その他】

- ・ ラトビアは「Press Freedom index」で第 12 位 (P. 6)
- ・ ラトビアテレビは欧州議会選挙のロシア語公開討論を中止 (P. 7)

※「ラトビア月報」は、ラトビアにおける政治・経済状況等について、ラトビア政府発表や各種報道等の公開資料（原則として該当月の月末までの情報）を取りまとめたもので、在ラトビア日本国大使館の見解を述べたものではありません。
月別の時事情報として御参照いただければ幸いです。

— 政治 —

【今月の注目記事】

◆国会は第二外国語を EU の公用語に変更することを認める教育法改正案を可決

5 月 9 日、国会は、第二外国語をロシア語から EU の公用語へ移行するための措置として、生徒が 2024 年 6 月 21 日までに第二外国語をロシア語から EU 公用語に変更すること希望する場合、新学習年度（2024 年 9 月）から EU 公用語を学べるようにする教育法改正案を可決した。但し、2025/2026 教育年度までに第二外国語としてロシア語を選択した生徒は基本的に 9 学年生になるまでロシア語の学習を継続できる。

◆国会は政府がエアバルティック社の株式を購入することを許可

5 月 2 日、国会は財務省が国の代理としてエアバルティック社の社債を購入することを許可する決議案を採択した。同決議案によると、財務省は 1 億 3600 万ユーロ又はそれと同等価値の金融資産を購入することができる。

◆4 月の政党支持率

5 月 14 日、ラトビアテレビは、4 月の世論調査結果を公表した。調査によると、「ナショナル・アライアンス」は先月に引き続き第 1 位となり、「緑と農民連合」が第 2 位、先月第 2 位であった「新・統一」は第 3 位となった。

政党名（%、括弧内は前回の国会選挙の得票率）	支持率 （%、括弧内は 2024 年 3 月の値）
「新・統一」（18.97）	7.2（7.8）
「緑と農民連合」（12.44）	7.6（7.0）
「統一リスト」（11.01）	5.0（4.9）
「ナショナル・アライアンス」（9.29）	8.1（8.1）
「安定のために」（6.80）	4.0（5.5）
「ラトビア・ファースト」（6.24）	6.6（7.4）
「進歩党」（6.16）	6.5（8.0）
「PLI」（4.97）	—（—）
「調和」（4.81）	5.8（5.0）
「プラットフォーム 21」（3.67）	0.2（0.2）
「ラトビアのロシア連合」（3.63）	—（—）
「主権」（3.24）	2.6（2.0）
「保守党」（3.09）	1.6（1.3）

「Movement For」	1.4 (1.4)
「ラトビアの発展のために」	1.2 (1.9)
「基礎 LV」	1.0 (0.8)

(政党は上から 2022 年 10 月に実施された第 14 回国会選挙で獲得票数が多かった順)

◆接收した所謂「モスクワの家」の売却金をウクライナ支援へ

5 月 30 日、ラトビアが接收してラトビアの国家資産とした元モスクワ市資産局の所有物件（所謂「モスクワの家」（マリヤ通り 7 番地））の売却金をウクライナに譲渡する法案を可決した。1 月 9 日、国会は、ラトビアの安全保障のためモスクワ市資産局の所有物件である所謂「モスクワの家」を接收して国家資産とする法案を可決していた。

— 経済 —

【今月の注目記事】

◆エアバルティック社はリガより新たに 5 都市に就航

5 月 2 日、エアバルティック社は、リガよりティラナ（アルバニア）、ソフィア（ブルガリア）及びスコピエ（北マケドニア）に就航した。4 日、同社はリガよりキシナウ（モルドバ）及びプリシュティナ（コソボ）に就航した。

◆OECD は 2024 年のラトビアの GDP 成長率を 1.8%増と予測

5 月 2 日、OECD は「Economic Outlook April 2024」を発表した。これによると、2024 年及び 2025 年のラトビアの GDP 成長率は、それぞれ 1.8%及び 2.9%、消費者物価指数上昇率はそれぞれ 1.7%及び 2.4%と予測されている。OECD はエネルギー価格の下落及び賃金上昇が個人消費を押し上げるとする一方、投資の少なさ、熟練労働者不足及びデジタル化の遅れが成長及び公共機関の足かせとなっていて、構造改革が生産性及び生活水準の向上のために重要であると指摘している。主な指標は以下のとおり。

	2024 年	2025 年
GDP 成長率 (%)	1.8	2.9
消費者物価上昇率 (%)	1.7	2.4
失業率 (%)	6.7	6.6
一般政府財政赤字 (対 GDP%)	2.9	2.5
一般政府債務 (対 GDP%)	45.7	47.3

◆エアバルティック社は 3 億 4000 万ユーロの社債を発行

5 月 7 日、エアバルティック社は 3 億 4000 万ユーロの償還期限 5 年 3 か月の一般担保付社債 (senior secured bonds) を年率 14.50%で発行した。この社債発行は、2024 年 7 月に償還期限を迎える 2 億ユーロの同社の社債の借り換え及び更なる投資のための 1 億

ユーロの資金確保のためのもの。

◆2024 年 4 月の失業率は 5.4%

5 月 9 日、国家雇用庁は 2024 年 4 月末の失業率は前月末比 0.4%減の 5.4%になったと発表した。

◆2024 年 4 月の消費者物価上昇率は 1.1%

5 月 10 日、中央統計局は、2024 年 4 月の消費者物価上昇率が前年同月比 1.1%、前月比では 0.5%となったと発表した。4 月の物価上昇は、主に、運輸関連商品・サービス、たばこ製品・アルコール飲料及びヘルスケアの上昇の影響を受けた。

◆EBRD は 2024 年のラトビアの実質 GDP 成長率予測を 1.8%に下方修正

5 月 15 日、EBRD（欧州復興開発銀行）の「Regional Economic Prospects May 2024」によると、ラトビアの 2024 年の経済成長率を 2.0%から 1.8%に下方修正した。EBRD は脆弱な輸出及び個人消費により 2023 年のラトビア経済は停滞したが、今後の経済回復は EU 基金による公共投資計画次第であると指摘している。

GDP 成長率 (%)	2024 年	2025 年
エストニア	0.8 (2.0)	3.5
ラトビア	1.8 (2.0)	2.6
リトアニア	1.5 (1.5)	2.3

(括弧内は OECD の 2023 年 9 月時点での 2024 年の各国の経済成長率予測)

◆2024 年第 1 四半期のラトビア宿泊施設利用者数は前年同期比 9.2%増

5 月 16 日、中央統計局は 2024 年第 1 四半期のラトビアの宿泊施設利用者数が前年同期比 9.2%増の約 422,600 人であったと発表した。

◆今夏レールバルティカの本線工事着工

5 月 22 日、レールバルティカのラトビア部分の建設を担当する「Eiropas Dzelzcela Linijas」社は今夏にレールバルティカの本線工事を着工する予定。ブリシュケンス運輸相によると、レールバルティカの第 1 フェーズは 2030 年までであり、リガとの接続も行われる予定であるが、同期間の優先課題は本線建設である。

◆ラトビアは 12 億 5000 万米ドルの 10 年債を発行

5 月 22 日、財務省の発表によると、ラトビアは 12 億 5000 万米ドルの 10 年債（償還期限：2034 年 7 月 30 日）を利回り 5.252%、利率 5.125%で発行した。

◆2024 年第 1 四半期の平均月給は 1,623 ユーロ

5 月 30 日、中央統計局は、2024 年第 1 四半期の平均月給は対前年同期比 11.0%（162 ユーロ）増の 1,623 ユーロ、手取りの平均月給は前年同期比 10.2%増の 1,180 ユーロとなったと発表した。

◆ブリティッシュ・エアウェイズは 10 月 28 日よりリガ・ロンドン便を毎日運航

5 月 30 日、リガ国際空港はブリティッシュ・エアウェイズが 10 月 28 日よりリガ・ロンドン（ヒースロー空港）便を毎日運航すると発表した。

— 外交 —

【今月の注目記事】

◆独・バルト三国首相がリガで会談

5 月 6 日、バルト三国首相とショルツ独首相はリガで会談し、安全保障、ウクライナ支援、経済協力、エネルギー・物流分野での地域開発などについて協議。会談後の記者会見でショルツ独首相は、「バルト諸国への攻撃は NATO 同盟国全体への攻撃であり、許容できない。緊急時には 35,000 人の兵士をいつでも派遣できる。」と述べた。

◆ブラジェ外相のエストニア訪問

5 月 6 日、エストニアを訪問したブラジェ外相は、カリス大統領、フサール国会議長、ツァフクナ外務大臣などと会談し、ウクライナへの国際支援確保のための二国間の緊密な協力関係を強調し、北欧・バルト三国の協力（NB8）、EU、NATO、国連を含む多国間枠組における両国の緊密なパートナーシップを確認した。

◆ブラジェ外相の EU 外務理事会出席

5 月 7 日、ブラジェ外相は、ブリュッセルで開催された EU 外務理事会に出席し、ウクライナへの支援が今後数年間の優先事項であり、ウクライナが戦争に勝利し、また、EU に加盟するために必要なあらゆる支援を確保する必要性を強調した。

◆ブラジェ外相のリトアニア訪問

5 月 10 日、リトアニアを訪問したブラジェ外相は、ランズベルギス外相らと会談し、現在の二国間および地域協力、バルト地域の安全保障情勢、ウクライナ情勢、さらに中東情勢やジョージアを含む国際的な議題について議論した。会談では、特にレールバルティカ計画など戦略的エネルギー・インフラプロジェクトに焦点が当てられた。

◆スィリニャ首相、ビリニウスにおけるバルト三国首相会談に出席

5 月 13 日、スィリニャ首相は、リトアニアのビリニウスで開催されたバルト三国首相

会談で、対外国境の管理強化や防衛力強化への投資の継続を約束した。また同首相は、ウクライナの勝利まで支援を続けること、再生可能資源による電力生産を増やすことで、エネルギーと輸送インフラの欧州ネットワークとの統合を進めることを強調した。

◆リンケービッチ大統領のイタリア公式訪問

5 月 14-15 日、リンケービッチ大統領はイタリアを公式訪問し、マッタレラ大統領や上院及び下院議長と会談した。マッタレラ大統領との首脳会談において、リンケービッチ大統領は両国の良好な二国間関係を歓迎し、バルト三国の安全保障強化に対するイタリアの貢献に謝意を表した。

◆ブラジェ外相のジョージア訪問

5 月 15 日、エストニア、リトアニア、アイスランド外相と共にジョージアを訪問したブラジェ外相は、ズラビシヴィリ大統領、パプアシヴィリ議長、ダルチアシヴィリ外相と会談。同月に同国で採択された外国エージェント法（注：外国から一定割合以上の資金提供を受けている団体に登録を義務づける法）などの立法措置に懸念を示した。

◆ミエリニャ国会議長のアゼルバイジャン訪問

5 月 20 日、アゼルバイジャンを訪問したミエリニャ国会議長は、アリエフ大統領やガハロヴァ国会議長と会談し、両国の経済関係拡大の潜在性を強調した。

◆ブラジェ外相の EU 総務理事会出席

5 月 21 日、ブラジェ外相はブリュッセルにおいて EU 総務理事会に出席し、ラトビアを含む EU 加盟国の法の支配について話し合った。

◆リンケービッチ大統領、UAE 代表との会談

5 月 22 日、リンケービッチ大統領はアラブ首長国連邦（UAE）の経済貿易担当国務大臣及び対外貿易担当国務大臣と会談した。大統領は会談で、「UAE は湾岸諸国の中でラトビアにとって最大の貿易相手国。ラトビア企業は食品・製薬産業、物流、ICT 等の分野で UAE 市場に大きな関心を寄せている」と述べた。また、大統領はウクライナでの人道支援と捕虜交換の仲介に感謝すると共に、ウクライナ平和イニシアティブへの積極的な参加とガザにおける人道危機への関与と支援を呼びかけた。

◆ブラジェ外相、NATO 本部でストルテンベルグ事務総長と会談

5 月 23 日、ブラジェ外相は NATO 本部でストルテンベルグ NATO 事務総長と会談し、7 月の NATO ワシントン首脳会議の優先議題である NATO の抑止力と防衛力の強化、ウクライナへの包括的支援等について話し合った。

◆スィリニャ首相とオルポ・フィンランド首相との会談

5 月 24 日、スィリニャ首相は、ラトビアを訪問したオルポ・フィンランド首相と会談し、EU 防衛産業の発展、対ウクライナ支援、NATO ワシントン首脳会合のほか、両国間の安全保障、投資、経済協力の強化について協議した。また、バルミエラにあるパトリア社（フィンランドの企業）の「ディフェンス・パートナーシップ・ラトビア」工場落成式典に共に出席した。

◆ブラジェ外相の NATO・B9 外相会合出席

5 月 26 日、ブラジェ外相はブリュッセルにおいて NATO ブカレスト 9 (B9) 外相会合に出席し、NATO ワシントン首脳会合の準備や対ウクライナ支援について協議した。

◆ブラジェ外相の EU 外務理事会出席

5 月 27 日、ブラジェ外相はブリュッセルにおいて EU 外務理事会に出席し、ロシアの軍事能力を制限し、ウクライナを支援することは、我々の安全保障にも繋がると指摘した。

◆ラトビア・フィリピン外務省間政務協議の開催

5 月 28 日、リガで第 1 回ラトビア・フィリピン政務協議が開催された。協議では、特に ICT、食品貿易、教育・科学、文化、人的交流の促進などの分野における両国協力について話し合われた。また、国際及び地域情勢についても取り上げられ、両国が国連憲章の原則の遵守とルールに基づく国際秩序を提唱する同志国であることで一致した。

◆リンケービッチ大統領の英国訪問

5 月 28 日、英国を訪問中のリンケービッチ大統領はバッキンガム宮殿でチャールズ 3 世国王に謁見。大統領は、ラトビアに対するイギリスの友情と支援に感謝し、国王一家をラトビアに招待した。

◆ブラジェ外相の NATO 非公式外相会合出席

5 月 30-31 日、ブラジェ外相はチェコを訪問し、NATO 非公式外相会合に出席した。会合では、ウクライナに対する長期的な支援と、ウクライナ軍への物資供給と訓練における NATO 同盟国の今後の役割が優先議題として取り上げられた。

— その他 —

【今月の注目記事】

◆ラトビアは「Press Freedom index」で第 12 位

5 月 3 日、「Reporters Without Borders (RSF)」が公表した「Press Freedom index」

で、ラトビアは 2023 年より 4 位上昇して第 12 位となった。エストニアは 2 位上昇して第 6 位、リトアニアは 6 位下落して第 13 位となった。

◆ラトビアテレビは欧州議会選挙のロシア語公開討論を中止

5 月 22 日、ラトビアテレビは、幅広い視聴者にメッセージを届けることを目的として、欧州議会選挙のロシア語公開討論を計画した。しかし、①リンケービッチ大統領が同公開討論はラトビア語でおこなわれなければならないと発言、②国家言語センターが同公開討論は違憲であるとコメント、③一部の政党が同公開討論に参加しないと表明、④同公開討論に反対するデモが行われたこと等を考慮して、同テレビは同公開討論の中止を決定した。

◆5 月 9 日（ソ連戦勝記念日）は比較的平穏に終了

5 月 10 日、コズロウスキス内務相はテレビのインタビューで、今年の 5 月 9 日のソ連戦勝記念日は比較的平穏に終了したと述べた。同内務相によると、ソ連戦勝記念日を祝福した関係で、65 の行政違反が登録され、19 人が拘束された。

◆幸福であると感じているラトビア住民の割合は 36.8%

5 月 16 日、エストニアの調査によると、常にまたは大抵幸福であると感じているラトビア、エストニア及びリトアニアの住民の割合はそれぞれ 36.8%、50.1%及び 48.1%。

◆リガで「リガ・リミ・マラソン」の開催

5 月 18 日～19 日、リガ・リミ・マラソンが開催され、104 か国 33,003 名が参加した。

◆約 2,000 人の教員が政府庁舎前でデモ

5 月 21 日、約 2,000 人の教員が、教育・科学省の提案した教員労働負荷均衡案に反対し、ラトビア教育・科学職員労働組合が主催した政府庁舎前でのデモに参加した。ただし、デモは平和裏に終了。これは去春の教員による最大規模のデモに次ぐ規模のデモであった。

2024年5月の主な出来事

	【内政】	【外交】
5月	2日、国会は政府がエアバルティック社の債権を購入することを許可	6日、独・バルト三国首相がリガで会談
		6日、ブラジェ外相のエストニア訪問
		7日、ブラジェ外相のEU外務理事会出席
	9日、国会は第二外国語をEUの公用語に変更することを認める改正教育法案を可決	10日、ブラジェ外相のリトアニア訪問
		13日、スリニャ首相ビリニウスでバルト三国首相会談に出席
		14－15日、リンケービッチ大統領のイタリア公式訪問
		15日、ブラジェ外相のジョージア訪問
		21日、ブラジェ外相のEU総務理事会出席
		22日、リンケービッチ大統領のUAE代表との会談
		23日、ブラジェ外相NATO本部でストルテンベルグ事務総長と会談
		24日、シリニャ首相とオルポ・フィンランド首相との会談
		26日、ブラジェ外相のNATO・B9外相会合出席
		27日、ブラジェ外相のEU外務理事会出席
		28日、ラトビア・フィリピン外務省間政務協議の開催
		28日、リンケービッチ大統領の英国訪問
	30日、国会は接收した所謂「モスクワの家」の売却金をウクライナに譲渡する法案を可決	30－31日、ブラジェ外相のNATO非公式外相会合出席

ラトビア主要経済指標

GDP

	単位	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 Q1	出典
名目GDP	百万ユーロ	29,154	30,573	30,109	33,349	38,386	40,348	9,335	公式統計ポータル
国民一人当たりGDP	ユーロ	15,135	15,980	15,840	17,710	20,351	21,444	-	公式統計ポータル
GDP実質成長率(※)	%	4.0	0.6	▲ 3.5	6.7	3.0	▲ 0.3	0.1	公式統計ポータル
国民一人当たりGDP/EU平均	%	69	69	72	71	73	71	-	EU統計局

(※)前年同期比(原数値)

財政収支, 政府債務残高

	単位	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 Q1	出典
財政収支	百万ユーロ	▲ 217	▲ 149	▲ 1,319	▲ 2,396	▲ 1,779	▲ 893	-	公式統計ポータル
財政収支対名目GDP比	%	▲ 0.7	▲ 0.5	▲ 4.4	▲ 7.2	▲ 4.6	▲ 2.2	-	公式統計ポータル
政府債務残高	百万ユーロ	10,784	11,209	12,869	14,809	16,039	17,581	-	公式統計ポータル
政府債務対名目GDP比	%	37.0	36.7	42.7	44.4	41.8	43.6	-	公式統計ポータル

失業率, 消費者物価上昇率, 月額平均賃金

	単位	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 Q1	出典
失業率	%	7.4	6.3	8.1	7.6	6.9	6.5	7.2	公式統計ポータル
消費者物価上昇率	%	2.5	2.8	0.2	3.3	17.3	8.9	3.4	公式統計ポータル
平均賃金(グロス)	ユーロ	1,004	1,076	1,143	1,277	1,373	1,537	1,623	公式統計ポータル
平均賃金(ネット)	ユーロ	742	793	841	939	1,006	1,119	1,180	公式統計ポータル
最低賃金(月額, グロス)	ユーロ	430	430	430	500	500	620	700	公式統計ポータル

対内直接投資(FDI)

	単位	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 Q1	出典
海外直接投資残高	百万ユーロ	15,334	16,050	16,799	21,196	22,564	24,476	-	中央銀行

貿易統計

	単位	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 Q1	出典
輸出(FOB)	百万ユーロ	12,773	12,966	13,305	16,452	21,334	19,060	4,677	公式統計ポータル
輸入(CIF)	百万ユーロ	15,793	15,914	15,159	19,519	26,496	23,354	5,139	公式統計ポータル
貿易収支	百万ユーロ	▲ 3,020	▲ 2,948	▲ 1,854	▲ 3,067	▲ 5,162	▲ 4,294	▲ 462	公式統計ポータル

日・ラトビア貿易(ラトビア政府統計)

	単位	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 Q1	出典
日本への輸出	千ユーロ	53,343	56,637	50,099	76,889	84,296	56,760	16,287	公式統計ポータル
日本からの輸入	千ユーロ	25,668	27,999	21,738	24,490	26,795	23,770	6,070	公式統計ポータル
対日貿易収支	千ユーロ	27,675	28,638	28,361	52,399	57,501	32,990	10,217	公式統計ポータル

日・ラトビア貿易(日本政府統計)

	単位	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 Q1	出典
ラトビアへの輸出	百万円	7,325	5,794	4,459	5,809	4,343	4,302	1,142	財務省統計
ラトビアからの輸入	百万円	8,847	8,868	8,650	10,088	16,770	10,559	2,979	財務省統計
対ラトビア貿易収支	百万円	▲ 1,522	▲ 3,074	▲ 4,191	▲ 4,279	▲ 12,427	▲ 6,257	▲ 1,837	財務省統計

両国間の訪問者数

	単位	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 Q1	出典
ラトビア→日本	人	2,551	2,701	393	197	631	2,567	-	日本政府観光局
日本→ラトビア(宿泊統計)	人	29,534	20,416	2,358	396	1,229	3,166	590	公式統計ポータル

(注)ラトビアは2014年1月1日ユーロを導入した。2024年5月末現在、1ユーロ＝169円程度。

(2024年6月3日まで公表分のデータ)